

りんごの花から花粉を採取



営農課では、りんご人工授粉作業に必要な花粉を確保するため、4月24日から5月15日にかけて開葯作業所を設けています。開葯は果樹の花から人工授粉用の花粉を採取する作業で、生産者が摘み取ったりんごの花を持ち込み、葯採取機を使用して作業を行いました。

開葯作業所は、平賀・常盤・黒石地区で設備を整え、受付をしています。



花から葯を採取する組合員

水稲種子播種作業



田舎館グリーンセンターでは、毎年水稲種子を播種して苗を育成しています。

同地区では、生産者が春作業で忙しく、播種作業の人材確保などが難しいことから、約50年前から提供しています。播種作業は4月上旬に開始し、出芽した水稲苗を生産者へ配布します。

今年は51件の申込があり、まっしぐら約13,500枚、青天の霹靂約2,600枚を播種。播種後は30度に設定した育苗器の中で約60時間加温し、数ミリ程度出芽した状態の苗を、JA職員が生産者のトラックに積み込みました。



水稲苗を積み込むJA職員

南八甲田高原野菜生産組合通常総会



南八甲田高原野菜生産組合（小林喜代勝組合長）は4月15日、小国コミュニティセンターにて「第49回通常総会」を開き、組合員30名が出席しました。

総会では、5億円以上の販売額の実現、生産技術向上と生産コスト低減による所得の増大と経営の安定化、農業を適正に使用し安心安全な産地の確立、農協共販率を高めて産地の知名度を高めるというスローガンのもと、一丸となって野菜生産に取り組むことを誓いました。



4月15日に開催された南八甲田高原野菜生産組合通常総会

JA金融機関窓口防犯訓練



石川支店で4月17日、金融窓口防犯体制の確認と防犯意識の周知徹底を図ることを目的として、弘前警察署（石川駐在所）の協力のもと、防犯訓練が行われました。

訓練では強盗への対応や刺叉による犯人の取り押さえ訓練を行いました。



刺叉を使った防犯訓練

